

中野中学校 学校だより

楽しい楽校、支え合う合校、そして自ら学ぶ学校

(生徒・保護者・地域のみなさんへ) 第19号〈特別号〉 令和3年2月2日(火) 発行

「チーム中野 令和2年度の取り組みと成果、令和3年度に向けて」

相模原市立中野中学校

□校長より「チーム中野」令和2年度の取り組み

学校には、生徒や家庭・地域の実態をふまえ、生徒に「確かな学力」と「心豊かな人間性」、そして、自ら学び自ら考える「社会を生き抜く力」を身につけさせることが求められています。このことを踏まえた上で、創意工夫に富んだ取り組みを着実に進め、生徒が生き生きと活動する魅力と特色のある学校づくりを行うことが大切であると考えています。中野中学校では、「4グループ(学び合い・心の育成・学校づくり・活動する力)の相互の連携」やこれまで大切にしてきた「笑顔あふれる学校」「安心・安全な学校」「にこやかに語り合える学校」等を推進・充実するなかで、教育活動の推進を図り、学校教育目標の達成を図ってまいりました。〈ネクスト・ステージ〉

そして昨年3月から6月までのコロナ禍による臨時休校。登校日の設定、そして学校再開、分散登校の実施、時間割編成の工夫、学校行事の重点化や準備時間の縮減、GIGA スクール先進校の取組等により、学校における指導を充実させてきました。〈3つのC: chance チャンス→ challenge チャレンジ→ change チェンジ〉

□令和2年度 中野中学校教育目標

「社会を生き抜く力と未来を切り拓く積極的な意欲を備えた、豊かな人間性・創造性と確かな学力をもつ生徒の育成

〈具体的にめざす生徒像～(5:go)目標～〉

- (1) 自分の考えを持ち、ともに高めあう学習態度をもった生徒
- (2) 諸活動に目標を持ち、思いやりをもってお互いに高めあっていく生徒
- (3) いつでも、どこでも、だれにでも、自らすすんで挨拶ができる生徒
- (4) 時間を守り、けじめのある生活習慣を身につけた生徒
- (5) 清掃美化活動やボランティア活動に積極的に取り組む生徒

＝コロナ禍で制限ある教育活動の中での自己評価＝

- ① 学校教育目標を達成させるため、「知」「徳」「体」を教育課程の中で調和を図りながら具現化しました。
- ② 主体的に学習に取り組む生徒の育成に努めました。
 - 対話と協同のある学び合い学習を推進しました。
 - 家庭学習の習慣化をめざしました(My コレ:課題プリント、自学帳の取り組み)。
 - 小学校と連携した教育活動と夢を育むキャリア教育を構想、推進しました。
- ③ 生徒理解のもと、3年間の発達段階や系統性を考えて諸活動を推進しました。
- ④ よりよい人間関係を築く生徒の育成に努めました。
 - 楽しい学校生活に導く教育相談の充実を図りました。
 - 豊かな人間性を育む道徳教育を推進しました(特別の教科 道徳)。
 - 個別支援によって自己有用感を高めるふれあいルームを運用しました。
- ⑤ 全職員が学校運営に対する参画意識を持ち、創意を活かして全職員の共通理解と協働体制(チーム学校:チーム中野)で教育活動を推進しました。
- ⑥ 教職員の資質向上と指導方法の工夫・改善を図る校内研究、研修を推進しました。
- ⑦ 人間尊重の基盤に立ち、生徒相互、生徒と教職員との人間関係・信頼関係づくりに努めました。
- ⑧ 社会に開かれた学校づくりを推進し、保護者・地域との連携と協力関係に努めました。

□保護者アンケートとその結果について

＊令和2年12月上旬に保護者アンケートを実施しました。今年度は、グーグルフォーム（学校グループメールにて送信）でご回答いただきました（紙でのご回答は4名）。以下が質問項目です。質問は、コロナ禍の事態を受けて昨年度の内容を一部変更いたしました。

- ① コロナ禍で制約はあったが、学校は「輝翼祭文化部門・体育部門」等の学校行事を通して、教育目標に迫る取り組みを行っている。
- ② コロナ禍で制約はあったが、学校は保護者に情報の提供を行っている。
- ③ 生徒に基礎学力を身につけさせるための効果的な指導・支援がある。
- ④ 道徳教育、心身の健康について考える指導や取り組みはお子様の心身を豊かにしている。
(特別の教科道徳の授業、薬物乱用防止教室、身体計測、性教育、食の指導を含む)
- ⑤ 生徒一人ひとりに対する相談活動や支援が適時に行われている。
(個別支援指導、悩みの調査や教育相談を含む)
- ⑥ 情報教育への取り組みと指導はお子様の効果的な学びの支援となっている。
(GIGAスクール構想による一人一台のタブレットPCの貸与と活用、オンライン集会、学習動画配信を含む)
- ⑦ 生徒会活動（委員会、学級での活動）への支援や取り組みが充実している。
(「輝翼祭文化部門・体育部門」を含む)
- ⑧ 生徒の将来の職業や進路についての指導・支援が適時に行われている。
(進路情報提供、職業講話、高校説明会の開催予定を含む)
- ⑨ **お子様は**、友達関係が良好で、落ちついた家庭生活を送っている。
- ⑩ **お子様は**、家庭学習の習慣が定着し、学習効果が上がっている。
- ⑪ **お子様は**、放課後の活動である部活動に満足している。(地域でのスポーツ・文化等の自主参加活動を含む)
- ⑫ 緊急時（地震や台風など）の学校の対応について理解している。
(生徒引き渡し訓練、防災訓練、学校ホームページによる周知を含む)

＊アンケート集計表

(人)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
教育目標に迫る取組	保護者に情報提供	効果的な指導・支援	道徳教育、心身の健康	相談活動や支援が適時	情報教育への取組指導	生徒会活動支援・取組	職業・進路指導が適時	友だち関係が良好	家庭学習の習慣が定着	放課後の部活動に満足	緊急時学校の対応への理解	
大変良い◎	149	151	79	86	74	80	92	45	119	37	65	109
良い ○	91	94	149	153	149	145	145	159	112	106	110	128
要改善	5	1	15	5	20	19	6	37	13	100	62	8
* 合計(人)	245	246	243	244	243	244	243	241	244	243	237	245

◎保護者アンケート集計の記述回答（抜粋）から

A<情報提供、学校公開>

(1)『コロナ禍ですが、ホームページで学校の様子がわかります。毎回タイムリーに載っていて作成は大変かと思いますが、いつもありがとうございます。』『ホームページが素晴らしい。学校での様子や部活動、大会等詳しくわかりやすい。写真の撮り方も工夫されている。』情報発信について多くの皆さまから好評価をいただいております。学校ホームページは生徒・保護者・地域の皆様に広く学校教育を理解してもらう目的の他に生徒・教職員への励まし、生徒同士・保護者同士・教職員同士の話題(会話)提供への目的があります。コロナ禍において保護者の皆様が授業・行事の参観や部活動等の直接の応援ができないために昨年度以上にブログの更新に努めました。なお、ホームページの掲載写真について4月当初に保護者の皆さまに掲載許可をいただいておりますが、不都合があるときはその都度ご連絡をいただきたいと存じます。今後もホームページと共に学校だより・学年だより等の定期的な発行と充実にも努めて参ります。学校メール(グループメール)も必要に応じ、適時に情報発信していきます。また今年度より導入し『手軽に回答できる』と好評の、保護者の皆様のアンケート(調査)回答や会合等の出欠確認は、今後グーグルフォームを基本として使用して参ります。



輝翼祭体育部門「3年」



タブレットによる生徒会選挙

(2) 学校と生徒・保護者の皆さまとの他の情報連携につきましては、これまで通り必要に応じた個別の連

絡を緊密かつ適時(状況に応じ外部機関との連携も)に行い、生徒のより良い学校生活に役立てていきたいと存じます。

B<教育活動グループ(学び合い、心の育成、学校づくり、活動する力)>

(1)『コロナ禍で学校は大変苦勞されていると思いますが、できる範囲や可能な形で、これまでであった活動(学校行事や職場体験学習など)をできる限り行って欲しいと思います。』学校教育目標に基づいた諸教育活動の目標及び計画が作成され、組織的な教育活動が展開されるところが学校です。その中で様々な体験や自己有用感を実感できる多くの機会があるのは輝翼祭などの学校行事です。そこには、集団でなければできない意図的・計画的な活動があります。また2年生は



オンライン「職業講話」「進路学習」の一環として総合的な学習の時間で「職場体験学習」があります。今年度コロナウイルス感染症拡大防止のために相模原市立中学校で一斉に中止としました。本校での2年生の進路学習は「働くことの意義や目的」「学ぶための制度と機会」があります。令和2年12月にザンビアで活動するNPO法人の方とオンライン職業講話を実施しました。

(2)『中学校最後の1年間だったので輝翼祭文化部門・体育部門は少しの時間でも入場したかった。』輝翼祭文化部門・体育部門実施目的の1つに「日常の教育活動の発表の場とし、保護者や地域に学校文化を理解してもらう機会とする」があります。本来、直接公開することが原則ですが、コロナウイルス感染症拡大防止策をとりながら生徒のパフォーマンスを最大に発揮するために文化部門は学年ごとの津久井文化福祉会館での発表、体育部門は校庭で全校生徒だけの開催でした。保護者への公開は、文化部門ではオンライン



輝翼祭文化部門「3年合唱」

ライブ配信と録画によるオンデマンド配信とDVDの作製。体育部門ではホームページでの例年より多い枚数の写真公開と録画によるオンデマンド配信、3年生対象でプロカメラマン撮影による写真販売を行いました。コロナ禍が終息することにより従来のような直接公開は可能となります。

(3)『もっと平日の部活動時間を長くして欲しい。準備や片付けの時間を考慮のうえでの練習時間の確保が望ましい。』6月からの学校再開があり、部活動は7月から平日のみ週2日1時間程度でスタートしました。部活動は相模原市のガイドラインにより、令和2年10月5日から「休日を含め週4日以内(平日3・休日1以内)平日放課後は1時間程度、土日はどちらか一方の実施で消毒を含めて3時間程度」となっていますが、令和3年1月7日の再度の緊急事態宣言発令により平日のみ週3日以内1時間程度で土日は不可となってしまうました。感染状況により今後の練習時間(朝練習の再開についても)が変わってきます。



女子バレー部

(4)『3年生の進路に関する三者面談の回数を増やした方が良いと思う。』について、3年生の三者面談は1学期1回、2学期に2回(内1回は随意面談)行っております。三者面談の時間は限られておりますので、当日の面談の前にご家庭でお子様と話す内容についてよくご相談のうえ、ご来校いただきたいと存じます。なお、これまで同様進路等についてお問い合わせがありましたら、お子様を通じ随時、学校までご連絡ください。



(5)『3年生の修学旅行は、これからでもどこか思い出に残るような場所に行くことはできませんか。』相模原市立中学校において今年度の中学3年生の修学旅行は全て中止となりました。修学旅行を含めた体験は中学校期で一度きりの貴重で重要な学習であることを鑑みて、本校では修学旅行の代替行事を計画しました。①令和3年2月24日実施予定の山梨方面(富士急ハイランド)への日帰り思い出旅行 ②「平和学習」として広島県の中学生とオンライン交流。広島平和記念公園への広島の中学生の日帰り遠足をオンラインで繋ぎ、平和宣言の実施 ③広島のNPO法人によるオンラインを通じた平和学習の実施 です。②と③は既に実施済みで、3年生生徒個々に「平和学習ノート」へ学習の成果をまとめました。コロナ禍ではありますができることを確実に実施して参ります。

オンライン「平和学習」

(6)『最近是不登校生徒が増える傾向にあります。不登校は確実に子どもの将来に大きな影響があります。不登校対策に力を入れて欲しい。』に関しては、不登校生徒について学校と教育委員会の関係機関と連携をとりながら本人・保護者への対応をはかっております。現在の状況を把握するため学校での面談・家庭訪問等の定期的な実施、学校や教育関係施設への登校等を実現するための定期的なケース会議も関係機関と共に行っております。また、学校内での居場所作りや一人ひとりに応じたきめ細やかで柔軟な対応のために「ふれあいルーム」を設置し運用しております。今後も一人ひとりに寄り添った対応をして参ります。

(7)『子ども達が自分を大切にしたり、周りの人を大切に思えるようにするために、性教育をもう少し学校で行う機会をつくってもらえたらと思います。』性に関する指導は学年別の指導目標があります。2年生に関しては「生命尊重の精神を学び、思春期の不安や悩みに対して前向きに対応する態度を養うとともに、平等の立場に立って互いに尊重する態度を養う」という目標により学級指導で「思春期における性意識と行動」を学習します。同じように1年生、3年生も決められた学習内容を実施しております。 PTAと生徒の「あいさつ運動」



C<その他> (1)『女子の制服のサイズが合わなくなり、裾直しをしましたが、最大に伸ばせる丈が3センチ程しかないのもっと伸ばせる工夫がある制服だと嬉しいのですが。』制服の裾伸ばしの工夫等をされているかと存じますが、PTAが行っている制服リサイクル(これまでのバザーに代わりリサイクルを実施)での交換利用もあります。制服リサイクルは保護者の皆様よりのお申し出により年間を通じ運営されています。随時受付ですので、サイズが合わなくなった場合は担任または学年担当にご相談ください。

(2)『思春期の小さな変化にも先生方がしっかりとケアしているので安心していきます。』『コロナウイルス対策をした上で、日々の授業や部活動、輝翼祭などの様々な活動を実施していただき感謝しております。』『このような状況でも楽しく学校に通っているようです。学校のコロナ対策の対応は大変でしょうがよろしく願いいたします。』と頂戴いたしました教職員への励ましとお褒めの言葉に甘んじることなく、令和3年度に向けては、コロナ対策とともに学校教育を進めていくことにはなりますが、更に気持ちを引き締めて「チーム中野」教職員一同努力して参ります。

□今後の改善の方策＝令和3年度 学校改善 基本方針＝

～笑顔あふれる、魅力ある中野中学校づくりのための4つの取り組み～

1 生徒が自ら進んで学習に取り組む力を育てる授業の創造に努めます。

- ① 対話と協同のある学び合い学習で達成感のある授業の推進
- ② 効果的な「チームティーチング(TT)、少人数指導」等、指導法の工夫
- ③ 補習や学習相談日による個別の「学習支援」
- ④ 「家庭学習」の習慣確立にむけた意図的な指導
- ⑤ 授業の質的向上を図る教員の「校内研修」を推進し、教科部会を充実



1年数学 TT 授業

2 生徒の自己指導力が育つ教育と確固たる規範意識の育成に努めます。

- ⑥ 生徒の主体的な活動を推奨し、自己決定の場や機会をより多く用意
- ⑦ 「特別の教科 道徳」の指導内容・方法の質的向上
- ⑧ 教育相談に向けた調査・いじめの調査・Y-Pを行い、一人ひとりに対応した教育相談の実施
- ⑨ 生徒一人ひとりにしっかりと向きあった支援を、行政等との連携により充実
- ⑩ 健全育成に向けた学校・家庭・地域社会の責任分担と連携



PTAと生徒の花植え

3 学校と家庭・地域社会と連携・協力し、意図的な教育活動に努めます。

- ⑪ 地域社会の人的・物的な教育資源の効果的活用をとおり、社会に開かれた教育課程を推進
- ⑫ 保護者とコミュニケーションをはかる学級懇談会を開催
- ⑬ 学校・学年だより等の発行や学校ホームページによる積極的な情報発信
- ⑭ 地域活動等への生徒の参画を推奨し、地域活動活性化へ寄与
- ⑮ 小学校と連携した教育活動やキャリア教育を推進



GIGA スクール「2年英語」

4 学校改善に活かす評価活動で、保護者との信頼関係構築に努めます。

- ⑯ 評価項目に学校の取り組みを示すなど、保護者等アンケートの工夫・実施
- ⑰ 適切な評価活動が可能な、「学校評議員会」を開催

相模原市立中野中学校 (チーム中野2020)

校長 菊地原 宏明
 所在地 〒252-0157 相模原市緑区中野 960 番地
 電話 042-784-1240
 FAX 042-784-1423
 学校 HP <http://www.sagamihara-nakano-j.ed.jp/>

